

萌黄 (もえぎ) 通信

「もえぎ」、とは私の一人娘の名前です。誕生年と創業が同じなんです。



みなさん、先月は現場がかなり立て込んで更新出来ませんでした。すいません(一一)。今月もかなり忙しかったのですが、GWの休みを利用して作成中です。私の仕事仲間が、最近、十二指腸潰瘍で入院しました。ストレスと過労から発症したと思いますが心配です。皆さんも季節の変わり目は要注意ですので気を付けてください。そんな訳もあり、ストレスを解消のために、毎日の晩酌を楽しみにしている堀内貢次です(飲み過ぎてしまうのが返って身体に悪いのですが・・・)。

高校恩師の退職祝いに参加しました！

先日、高校時代の恩師が退職すると言うので、お祝いの会を開きました。僕個人では、高校時代の1年生の時の担任で、またラグビー時代の顧問でもあったので、特に感慨深いものもあり参加しました。新設高校でラグビーに熱心な1期か

ら4期の仲間が集まり、年齢にして45歳前後なので、皆いろんな意味で変わり、中には全く分からない人もいたり、時の流れを感じました。でも会が始まれば、昔



の思い出話で大賑わいの宴会となりました。

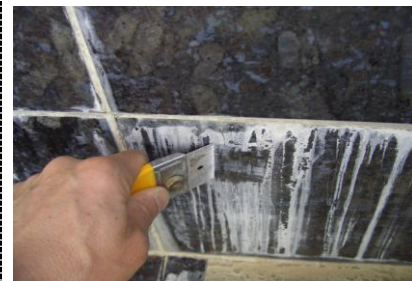
浴槽からエフロ発生！

石のお風呂(それも浴槽)を作ると、このようなエフロが発生することが結構あります。

どうしても水回りなので、常に石の裏面にも水が回りこみ、下地のバサモルのセメント成分が溶け出して、白華(エフロ)を発生させているようです。浴槽に常に水を貼っていると、水の重量で浴槽からエフロは出にくくなりますが、今度は洗い場の方へ水の流れが行きますので、浴槽の立ち上がり部分からエフロが発生することがあります。こうなると、石の裏面が乾燥しない限りエフロが止まることはないのです、こまめに清掃をしていかないといけません。

今回の場合、浴槽の全面が御影石の本磨き仕上げなので、ケレン等で表層のエフロを削り取っていきます。ほとんどのエフロの発生場所は目地セメントからでした。石材の方が緻密なので、どうしてもセメント目地からエフロが発生して

しまうようです。対策としてはコート施工も少しは有効なのですが、石の裏面にどの程度の水分があるか分からないのと、また乾燥のために長期間風呂が使用できなくすることが必要になるので、なかなか本施工は難しく



なります。また、パーナー仕上げに発生した場合は、石の目にエフロが入り込むので、洗浄には酸性洗剤が必要になります。



エフロ発生 part2 (玄関土間編)

今度もエフロ発生の現場からです。こちらは、大理石(ポテチーノ)で、やはり外部から水が回ってきていて、今回は石の目(ポテチーノの場合は筋目が多いのでそこから水分とモルタルのアルカリ水が吸上がって



るようです。対処は御影石の様にケレンで削ると石の表面のツヤが飛ぶので、バフやダイヤモンド研磨でエフロを除去していきます。

編集後記) 先日、石材卸業者の展示会に行ってきました。石材や今流行りの石目調のタイルの種類の多さにビックリです。ワインのお土産も頂き、嬉しさ倍増でした。

萌黄通信 毎月1回発行

発行編集責任者 (有) ケイ・アンド・エス 堀内貢次

(東京出張所) 東京都港区浜松町1-1-10

(電話) 03-3431-0387 (Fax) 03-3431-7198

<http://www.e-kands.jp>

(メール) kandsstg@jt4.so-net.ne.jp